



T-rex USER'S GUIDE

この度は T-レックス製品をお買いいただき、誠に有難うございます。本機の特徴を十分に発揮していただくために、以下の取扱い説明をご一読の上ご使用ください。

Alberta (アルベルタ : オーヴァードライブ)

アルベルタはスムーズで豊かなミッドレンジを持ち、クランチが効いていながらもクリーンなトーンが特長のペダルです。

GAIN オーヴァードライブのゲインを調整します。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。
STONE 本来のクオリティを活かしたまま、トップエンド(エッジ)のサウンドをお好みに合わせて調整できます。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Moller (モラー : オーヴァードライブ)

モラーは、さまざまなトーンを作り出すことができるクラシカルサウンドのオーヴァードライブです。クリーントーンは 20db ブースト可能で、さらにクリーントーンとオーヴァードライブの Mix も可能です。

STONE 音質を調整します。
GAIN オーヴァードライブのゲインを調整します。
MIX オーヴァードライブとクリーントーンを、ミックスします。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。
BOOST 0-20db の範囲でブースト量を調整します。
VOICE ボタンを押すと中低域がブーストされます。
電源 006P9V の電池または、9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Mudhoney (マッドハニー : ディストーション)

リズムからソロ・サウンドまで、幅広くカバーするブースター/ディストーションです。

BOOST ボタンを押すとハイゲインになります。
GAIN ディストーションのゲインを調整します。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。中間(12 時)のポジションではブーストのない状態となり、フルにするとシグナルは 15dB ブーストされます。
STONE 本来のクオリティを活かしたまま、トップエンド(エッジ)のサウンドをお好みに合わせて調整できます。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Dr.Swamp (ドクター・スワンプ : ダブルディストーション)

リズム・プレイとリード・プレイ、2 つのセッティングの切り替えが可能なダブル・ディストーション・ペダル。クランチ感をともなったリッチなサウンドが魅力です。

ON-OFF 使用するチャンネルを選択します。(選択されているチャンネルのトーンコントロールが点灯します。)
GAIN ディストーションのゲインを調整します。
LEVEL 出力ボリュームを調整します。
STONE ディストーションのエッジを調整します。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

BloodyMary (ブラッディー・マリー : メタル用ディストーション)

5つのコントロールノブを操り自分のオリジナルメタルサウンドをカスタマイズ。またボディースイッチのオン/オフ切り替えにより、切れのあるトーンとリッチな低域を加えることが可能です。

GAIN ディストーションのレベルを調節します。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。
BASS 低域のレベルを調節します。
MID 中低域のレベルを調節します。
HIGH 高域のレベルを調節します。
BODY 明瞭なトーンと中低域をさらに加えるスイッチです。
電源 006P9V の電池または、9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Tremster (トレムスター : トレモロ/ヴィブラート)

豊かで魅力的なヴィンテージ・チューブアンプのトレモロ/ヴィブラートエフェクトを再現したエフェクトペダルです。

MODE トレモロとヴィブラートを切り替えます。トレモロの場合、ラジカルかつ連続的にボリュームを変化させます。ヴィブラートではボリュームの変化はやや小幅になります。
DEPTH トレモロによるボリューム振幅の深さを調整します。
VOLUME 全体のボリュームを調整します。中間(12 時)のポジションではブーストのない状態となり、フルにするとシグナルは 15dB ブーストされます。
SPEED ヴォリューム振幅のスピードを調整します。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Comp-nova (コンプ・ノヴァ : コンプレッサー)

コンプ・ノヴァはオリジナルのサウンドをそこなく、スムーズなサスティンを得る事ができるナチュラルなコンプレッション・レベルです。

COMP コンプレッションの効き具合を調整します。
ATTACK アタック音のセンシティブリティを調整します。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。最大にするとシグナルは約 3dB ブーストされます。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Bass Juice (ベースジュース・ベースディストーション)

ウォームかつスムーズなサウンドキャラクターを特長とするディストーション・ペダルです。ミックス・コントロールによりエフェクト音とオリジナル音のブレンドも思いのままです。

BOOST ボタンを押すとハイゲインになります。
GAIN ディストーションのゲインを調整します。
LEVEL 全体のボリュームを調整します。
STONE 音質を調整します。
MIX オーヴァードライブ音のミックス具合を調整します。最小にするとダイレクト音だけが聞こえます。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Michael Angelo Overdrive

(マイケルアンジェロ・オーバードライブ : オーヴァードライブ)

ダブルハンドギタリスト・マイケル・アンジェロの要望で開発されたこのオーヴァードライブは、クリーミーかつ曇りの無いクラシックオーバードライブです。シンプルなコントロールでパンチの効いたブルースクランチトーンから泣きのロックギターサウンドまでを出すことができます。

GAIN オーヴァードライブのゲインを調整します。
STONE 音質を調整します。
LEVEL アンプやミキサーなどに出力するレベルを調整します。
電源 006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換 マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

Squeezer (スクワイザー : ベース用チューブ・コンプレッサー)

スクワイザーは、ベース用チューブ内蔵のコンプレッサーです。ベース音のダイナミクスを滑らかに調整することができ、またコントロールノブで自分にパーフェクトな音にミックスすることができます。チューブの温かみのある音を作ることも可能!

Threshold コンプレッサーのかかる値を調整します。(-30 dBu - +10 dBu)
Attack コンプレッサーがかかり始めるタイミングを調整します。(0 - 950 mSec)
Release コンプレッサーがかかり続ける時間を調整します。(0 - 2000 mSec)
Gain 入力レベルを -10dB から +20dB の範囲で調整することができます。
Level アンプやミキサーなどに出力するレベルを調整します。
Comp コンプレッションレシオの割合を調整します。(1:1 - 10:1)
電源 付属の 12V DC アダプターを使用します。

TWIN BOOST (ツインブースト：ツインブースター)

ツインブーストは、2種類のセッティングを簡単に使い分けることができます。各チャンネル独立したレベルとフルセットのトーンをコントロールでき、伝統的なブーストペダルから進化したブースターです。

ON-OFF	使用するチャンネルを選択します。 (選択されているチャンネルのトーンコントロールが点灯します。)
LEVEL	ブーストの量を調整します。
TEBLE, MIDDLE, BASS	各チャンネルの音質を調整します。
電源	006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換	マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

SWEEPER (スイーパー：ベース用コーラス)

シンプルに構成された「SWEEPER」。その洗練されたクラシック・コーラス・サウンドの秘密はトーンにあります。

ベースのためだけにデザインされ、DEPTH と RATE がどんな設定でも素晴らしいコーラス・エフェクトを与えてくれます。

また、ベースから生み出されるフリークエンシー(特に低音域)を無駄にせず原音を劣化させずに再現します。

DEPTH	コーラスの効き具合を調整します。
SPEED	コーラスの振幅のスピードを調整します。
VOLUME	出力するレベルを調整します。
INPUT LEVEL(右側面)	入力ボリュームを調整します。入力レベルが大きすぎると横の LED が点灯します。 注意: 左に回しきると入力が 0 になり音が出ません。
電源	006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換	マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

スイーパーはステレオ出力が可能となっています。もちろんモノラル出力での使用でも効果を発揮します。

モノラルで使用する場合、OUTPUT L、Rどちらへ接続しても使用できます。(コーラスの位相が違いますがサウンドに大きな変化はありません。)

TWISTER (ツイスター：コーラス&フランジャー)

ツイスターは、コーラスとフランジャーという2種類のエフェクトを使い分ける事ができます。きらきらと輝くコーラスサウンドとフランジャーのファンキーなねじれサウンドを1台で可能にします。

DEPTH	コーラス/フランジャーの効き具合を調整します。
RATE	コーラス/フランジャーの振幅のスピードを調整します。
LEVEL	出力するレベルを調整します。
TOPE	高域のサウンドをカットします。
REGEN	フランジャーモード使用時にフィードバックの量を調整します。
CHORUS/FLANGER	エフェクトの効果を切り替えます。
LIGHT/HEAVY	エフェクトの効き具合を変更します。LIGHT では軽く(特にコーラスにお勧めします。)、HEAVY では強烈なエフェクト効果が得られます。
INPUT LEVEL(右側面)	入力ボリュームを調整します。入力レベルが大きすぎると横の LED が点灯します。 注意: 左に回しきると入力が 0 になり音が出ません。
電源	006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換	マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

ツイスターはステレオ出力が可能となっています。モノラルで使用する場合、OUTPUT L、Rどちらへ接続しても使用できます。(コーラスの位相が違いますがサウンドに大きな変化はありません。)

Tremonti Phaser (トレモンティ・フェイザー：フェイザー)

T-rex のエンド・サーである、マーク・トレモンティ(Creed, Alter Bridge)が求める完璧なフェイザーを実現したモデル。70年代のヴィンテージサウンドから、現代的な洗練されたサウンドまで多彩なサウンドをシンプルな操作で再現します。

DEPTH	フェイザーの効き具合を調整します。
RATE	フェイザーの振幅スピードを調整します。
LEVEL	出力するレベルを調整します。
BITE	フェイザーサウンドに、わずかなオーバードライブ・サウンドを加えます。これにより、よりピンチングなサウンドを再現します。
4 STAGE / 8 STAGE	2つのサウンドを切り替えます。 4 STAGE は 70年代前半のヴィンテージフェイザー、8 STAGE ではさらに精密で現代的なフェイザーサウンドをそれぞれ再現します。
電源	006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換	マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

トレモンティ・フェーズシフターはステレオ出力が可能となっています。モノラルで使用する場合、OUTPUT L、Rどちらへ接続しても使用できます。

POLYSWITCH (ポリスイッチ：ステレオラインセクター)

ポリスイッチは、信号(モノラル、ステレオ)を A or B 2つのラインへ切替るラインセクタースイッチです。1本のギターで2台のアンプを切り替えての使用や、1台のアンプでギター2本を使い分けるなど使い方は様々。「本来のサウンドが損なわれない事」を基本に設計され、極めて長いケーブルの音痩せにも対応できるようバッファースイッチも備えています。

ON/OFF	A と B の出力を切り替えます。 (A、B 同時には出力できません。)
BUFFER	BUFFER の ON/OFF を切り替えます。
電源	006P9V バッテリーまたは 9-12V DC アダプターを使用します。
バッテリーの交換	マイナスドライバーなどを使い、背面のバッテリーカバーのスロットを引っ掛けてフタを開いてください。

ポリスイッチは INPUT と OUTPUT を逆に使用することも可能です。

(2本のギターを1台のアンプで使用する場合。)

その際、BUFFER スイッチは OFF にして下さい。ON になっていると音が出ません。

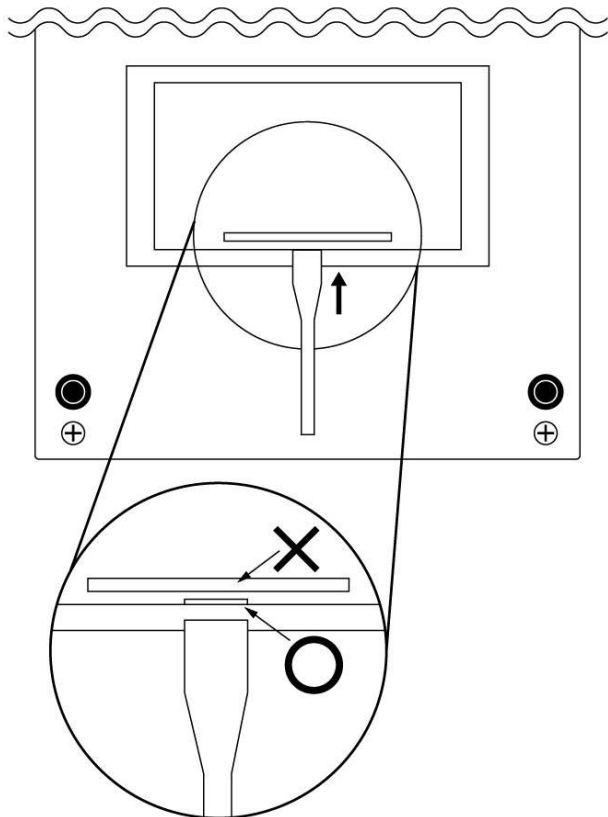
[SPECS]
Input Impedance @ 1KHz with buffer OFF: 3.5Mohm
Input Impedance @ 1KHz with buffer ON: 862Kohm
Output Impedance @ 1KHz with Buffer OFF: >10Mohm
Output Impedance @ 1KHz with Buffer ON: 120ohm
Maximum input signal Vp/p With buffer OFF: Input = output, No limit
Maximum input signal Vp/p With buffer ON: 4Vp/p
Jack: Input(L), Input(R), Out(A)left, Out(A)Right, Out(B)left, Out(B)Right
Controls: On/Off, buffer
Size: 120(W)x110(H)x55(D)

注意: アンプとスピーカーの接続に使用しないで下さい。致命的なダメージを与える可能性があります。

【補足】

バッテリーの交換:フタの正しい開け方。

下記の注意を必ずお読みください。



マイナスの精密ドライバーなどを使い、バッテリーボックスのフタに付いている、小さなくぼみを押して、フタを持ち上げてください。

ご注意! 小さなくぼみの上にある、細長い溝の方(×印)を誤って押したりドライバーなどを差し込んだりすると、フタが破損する恐れがございますので、ご注意ください。

ご注意!

- ホコリや直射日光、極端な温度や湿度はユニットにダメージを与えますので、上記のような場所を避けて使用・保管してください。
- 各部位はていねいにあつかい、落下させないようご注意ください。
- 電気製品ですので、水気から避けて使用・保管してください。
- ユニットの汚れをふき取る際は、必ず乾いたクロス等をお使いください。

重要!

- 乾電池の電圧が落ちてくると、LED が暗くなる、音がひずむ、などの症状があらわれます。その際にはすみやかに乾電池を交換してください。
- 古い乾電池は液漏れなどをおこし、エフェクタの電気回路に悪影響を及ぼします。パワーがなくなりかけている乾電池はすみやかに交換してください。

* 本製品の仕様およびデザインは品質向上のため予告なく変更する場合がございます。

[輸入販売元: 荒井貿易株式会社]